



デコ活（脱炭素実践活動）事例収集・発信事業
「エコカップ やまがた 2025」

～カーボンニュートラルやまがたを目指して～

活動事例集



～「エコカップやまがた 2025」とは（趣旨）～

山形県内各地域の事業者や団体等が行っているデコ活や脱炭素に係る実践活動の事例を収集し、実践活動発表会や冊子等で広く情報発信・紹介し、他社や他地域での実践者の拡大及び脱炭素社会づくりを一層推進することを目的としています。

この事業は、環境省間接補助事業（地域における地球温暖化防止活動促進事業）を活用し実施しています。

御 礼

「エコカップやまがた 2025」実行委員会

委員長 佐 藤 五 郎



2025 年 7 月 28 日に林野庁と宮城県危機管理部の許可を得て蔵王連峰御釜の湖沼調査を実施することができた。御釜にボートを浮かべて調査をするのは 1982～1984 年に実施した山形県総合学術調査会での調査以来およそ 40 年ぶりであった。なかでも水温や電気伝導度の鉛直分布は特異な状況を呈し、とくに湖面から深度 4m までの水温が 20℃を超えて大量の蓄熱を抱えていた。湖面標

高 1500mを超える奥羽山脈上の高地湖沼で 4mの深さまで水温 20℃を超えることは極めて稀である。この原因としては7月の気温が高温続きで少雨であったことが影響しているが、蔵王のシンボルの湖沼にまで温暖化の影が及んでいることが推測される。

一方、世界の温室効果ガスが過去最大の排出量を確認された今年も 19 回目を迎える「エコカップやまがた」は県内各地から 42 件の応募をいただいた。混沌とする世界の政治情勢のなかで日夜温暖化防止に向けた身近な取り組みに努力しておられる皆様に心より敬意を表したい。2 度にわたる書類審査を経て 9 件の活動事例を選出したが、いずれも複数の活動を組み合わせた内容で、いわばハイブリットな温暖化防止活動といえる。最終プレゼンテーションの結果、大賞として置賜農業高校アップサイクルマジックチーム様の「食品残渣を活用したアップサイクルの取り組み」を、さらに実行委員会特別賞に高畠町様の「ZEB 庁舎建設」を選出した。なおプレゼン会場には今年も県の温暖化防止活動推進員の投票参加を設けた。繰り返しになるが温暖化防止の効果が見えるには長い時間を要する。そのためには世界の安定した政治情勢が不可欠であり一刻も早く安寧な国際情勢が訪れ次世代の地球環境が少しでも健全であることを切に願う。

【「エコカップやまがた 2025」実行委員会】

＜委員長＞佐藤 五郎 （NPO 法人 最上川リバーツーリズムネットワーク 代表理事）
佐藤 司 （鶴岡工業高等専門学校 創造工学科 教授）
玉虫 秀明 （株式会社山形新聞社 論説委員）
菅原 弘紀 （NPO 法人 山形県人道者公益センター 顧問）
土屋 昭子 （山形県環境エネルギー部環境企画課長
(兼) カーボンニュートラル・GX 戦略室長)

目 次

実行委員長あいさつ、実行委員の紹介	・ P1
目次	・ P2～3
実践活動発表会について	・ P4
「デコ活」とは？	・ P5
活動紹介	・ P6～25
＊各団体のページは、以下の一覧をご覧ください。	
共催団体の活動の紹介	・ P26～27
過去の「エコカップやまがた」受賞団体	・ P28

【活動内容一覧（全活動団体一覧）】

分類	取り組み名称	団体名	市町村	ページ
発表（受賞）団体	食品残渣を活用したアップサイクルの取り組み	置賜農業高校アップサイクルマジックチーム	川西町	6
	ZEB 庁舎建設	高畠町	高畠町	7
	鶴岡市ごみ焼却施設余剰電力の地産地消事業	鶴岡市市民部環境政策課	鶴岡市	8
	環境フェアつるおか事業	環境つるおか推進協議会	鶴岡市	9
	長井市地域脱炭素プラン 「こどもの学びにも“脱炭素”」	長井市	長井市	10
	ゼロカーボン日本酒 『永遠酔』	ゼロカーボン日本酒プロジェクト	飯豊町	11
	風力発電事業を通じた環境保全活動	加藤総業株式会社	鶴岡市	12
	庄内エコ米プロジェクト	株式会社トー屋	酒田市	13
	農工連携カーボンニュートラルチャレンジ 光フューチャープロジェクト2024～2025 ～太陽光発電でさくらんぼを守っちゃえー！～	村山産業高校 産業教育連携協議会	村山市	14
行政・地球温暖化対策協議会	やまがたゼロカーボン加速化事業	山形市環境課	山形市	15
	夏休み講座「天気の人・アマタツと学ぶ地球温暖化」の開催	山形市環境課	山形市	15
	環境や省エネルギーに配慮した取り組み	山形市消防本部	山形市	15
	親子ふれあい環境教室	天童市	天童市	16
	天童市太陽光発電システム設置支援事業費補助金	天童市	天童市	16
	キャンドルナイト in てんどう 2024	天童市地球温暖化対策協議会	天童市	16
	『親子で学ぼう！エネルギー回収施設見学とエコ工作＆交通安全教室』	上山市地球温暖化対策地域協議会	上山市	17
	公共施設グリーンカーテン設置事業	村山市	村山市	17
	太陽光発電システム等設置補助金	村山市	村山市	17

行政・地球温暖化対策協議会	木質バイオマス利用拡大支援事業	村山市	村山市	18
	環境 ISO の取り組み	東根市	東根市	18
	環境週間ひがしね	東根市	東根市	18
	夏を涼しく ひがしね環境映画の日	東根市	東根市	19
	環境ポスターコンクールの開催	河北町役場	河北町	19
	再生可能エネルギー設備導入事業費補助事業	河北町役場	河北町	19
	生ごみ処理機購入設置事業補助事業	河北町役場	河北町	20
	ゼロカーボンシティの実現に向けた市の取り組み	寒河江市役所市民生活課地球温暖化対策室	寒河江市	20
	廃食用油（植物性）の集団回収	三川町、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会	三川町	20
	住民参加型「空き缶回収事業」	三川町、各小学校、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会	三川町	21
	町内会等集団資源回収、資源リサイクルステーション、資源ポストによる資源リサイクルの推進	三川町、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会	三川町	21
	町民へのアサガオ種の配付及び公共施設、保育園・幼稚園へのグリーンカーテンの設置	三川町、みかわ保育園・幼稚園、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会	三川町	21
	住宅用太陽光発電システム設置補助	三川町	三川町	22
	ゼロカーボンシティ宣言後の取組	白鷹町	白鷹町	22
NPO・団体	小水力発電へのチャレンジと普及活動（その見える化）	NPO かねやま電雪	金山町	22
企業等	GHG 排出量（scope 1～3）検証による地球温暖化防止への取組み	ASE ジャパン株式会社	高畠町	23
	エネルギーの地産地消を目指して	株式会社エービーエム	米沢市	23
	エコアクション 21 を中心とした環境活動	有限会社三立	長井市	23
	ネット セーフティー&エコドライブ教室	ネットトヨタ山形株式会社	山形市	24
	資源削減の取り組み	株式会社マツキコーポレーション	長井市	24
	やまがたCO ₂ フリー電力の販売と自家消費型太陽光発電設備余剰電力買取による地域の脱炭素推進	株式会社やまがた新電力	山形市	24
	環境製品の開発と普及活動および太陽光発電事業	株式会社山本製作所	東根市	25
	地域資源のリサイクル活用と再生可能エネルギーの普及と開発	株式会社渡会電気土木	鶴岡市	25
学校	超小型風車におけるブレード形状最適化の研究	山形県立山形工業高等学校 機械技術研究会	山形市	25

エコカップやまがた2025 ～カーボンニュートルやまがたを目指して～ 実践活動発表会について

令和7年10月18日に開催した実践活動発表会では、報告いただいた全42件の取組みの中から実行委員会より推薦された9団体が事例の発表を行いました。

発表団体のうち、「置賜農業高校アップサイクルマジックチーム」に『エコカップやまがた大賞』が、「高畠町」に『エコカップやまがた実行委員会特別賞』が贈られました。

【発表団体】

◆鶴岡市市民部環境政策課

「鶴岡市ごみ焼却施設余剰電力の地産地消事業」

◆環境つるおか推進協議会

「環境フェアつるおか事業」

◆長井市

「長井市地域脱炭素プラン 『こどもの学びにも“脱炭素”』」

◆高畠町

「ZEB 庁舎建設」

◆ゼロカーボン日本酒プロジェクト

「ゼロカーボン日本酒『永遠酔』」

◆加藤総業株式会社

「風力発電事業を通じた環境保全活動」

◆株式会社トー屋

「庄内エコ米プロジェクト」

◆置賜農業高校アップサイクルマジックチーム

「食品残渣を活用したアップサイクルの取り組み」

◆村山産業高校 産業教育連携協議会

「農工連携カーボンニュートラルチャレンジ 光フューチャープロジェクト2024～2025
～太陽光発電でさくらんぼを守っちゃえー！～」



佐藤委員長のご挨拶



高畠町の発表の様子

「デコ活」とは？

「デコ活」（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）とは、2050 年カーボンニュートラル及び 2030 年度削減目標の実現に向け、2022 年 10 月に発足した国民のみなさまの行動変容・ライフスタイル転換を強力に後押しするための新しい国民運動です。2023 年 7 月に愛称が「デコ活」に決定し、同年 8 月、ロゴマーク、メッセージ、アクション等も決定しました。

「デコ活」は、CO₂ を減らす脱炭素（Decarbonization）と、環境に良いエコ（Eco）を含む「デコ」と、活動・生活を意味する「活」を組み合わせた言葉です。ロゴマークは一人一人の日常の取組が地球を変える大きなうねりになる「バタフライエフェクト」をイメージし、シンプルな蝶のデザインになっています。

●デコ活につながるアクション（活動の例）

- ・電気代をおさえる断熱省エネ住宅に住む、断熱リフォームで生活が快適になるとともに、冷暖房費の抑制に！
- ・電灯の LED 化、省エネ家電への買い替えで電気代がお得に！
- ・食品ロス削減で日々の食費節約、地元産の旬の食材を積極的に選び、地域へ貢献！
- ・毎日のテレワークでガソリン代の節約に！



○「デコ活」（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）/環境省
<https://ondankataisaku.env.go.jp/dekokatsu/>にて詳細がご覧いただけます。



エコカップやまがた 大賞

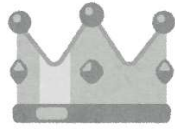
川西町

食品残渣を活用したアップサイクルの取り組み

置賜農業高校アップサイクルマジックチーム

1. リンゴの搾りかす等の食品残渣を米沢牛のエサに利用する取り組みを 2020 年から開始し、残渣 6 トンを 40 トンのエサに加工することで 1.4 トンの CO₂ を削減した。
2. リンゴやカボチャ等の皮や廃棄果肉の色素を利用する研究と実践を 2023 年から開始し、色素のパウダー化や濃縮化に取り組み、約 100 kg の廃棄物を減少させ、23.9 kg の CO₂ を減少させた。
3. リンゴの搾りかすを利用したヴィーガンレザーの製作とクラフト製品の作出を 2024 年から開始し、山形大学工学部の指導を得ながら、ポリウレタンと残渣および廃棄穀物の粉末を混合し人工皮革の製造に挑んでいる。現段階では 32 回の製造実験で 12.8 kg の残渣や廃棄穀物を使用して 4.8 m² のヴィーガンレザーを製造した。
4. 食品残渣を活用して、米沢牛のエサやスイーツ、ヴィーガンレザーと多種の高付加価値製品を作出した。
5. TOKYO エシカルアクションプロジェクトとの交流や、学生同士のエシカルキャンパス連携が始まっている。





エコカップやまがた 実行委員会特別賞

高島町

ZEB 庁舎建設

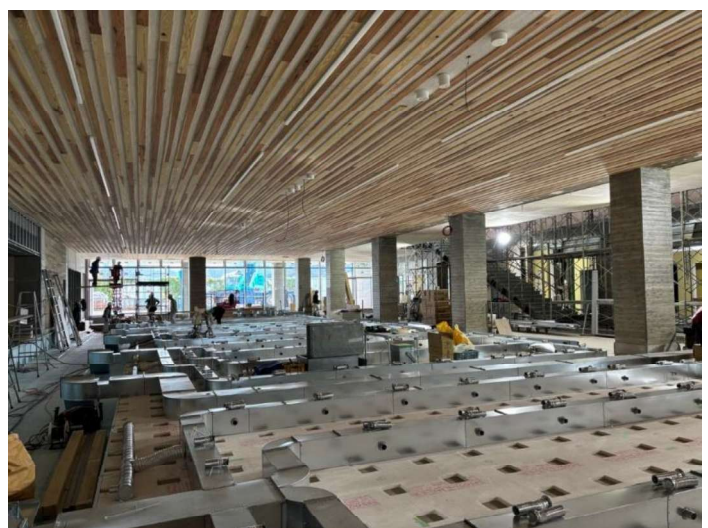
高島町

県内庁舎として初の ZEB 認証を取得した新庁舎が完成しました。自然の恵みを活かした省エネの庁舎づくりを当初から目指し取り組んだ結果、BELS 最高ランクの5つ星を獲得、設計一次エネルギー消費量を 62%削減する ZEB Ready を達成した庁舎となりました。

空調には地中熱を熱源として活用し、外皮の高断熱化と高効率設備等の導入により、快適性と省エネを両立しています。照明には人感・昼光センサーを組み合わせ、無駄なエネルギーの削減を図っています。また、太陽光発電パネルも設置しています。

町産の間伐材も積極的に活用し、伐採から製品化まで関係者と連携して取り組みを進めました。間伐を促進したことで、森林の吸収源対策にも繋がっています。

町は、公共施設を新築する際は、ZEB 基準を満たすことを庁内で確認しており、庁舎と同時期に建設した亀岡地区公民館も Nearly ZEB を取得しました。今後も、省エネ効果等を検証しながら、確実に建築物の省エネ化等を進めていきます。



地中熱空調床下の配管ダクト



エコカップやまがた賞

鶴岡市

鶴岡市ごみ焼却施設余剰電力の地産地消事業

鶴岡市市民部環境政策課

令和3年4月にゼロカーボンシティ宣言を行った市では、同月より稼働した新ごみ焼却施設（つるおかエコファイア）にて焼却時に発生する熱を利用してごみ発電を行っています。発電した電力は施設内で利用する他、余剰電力は地域電力会社へ売電し、この電力を電力会社から市が買戻して市内の小中学校（30校）と廃棄物処理施設（3施設）へ非化石証書を付けた形で供給しています。

電力は食料品や工業製品と異なり、産地（どこで発電されたか）や製造方法（発電方式）は判別できませんが、非化石証書という制度を使って鶴岡市のごみ発電で生まれた電力と示すことで「電力の地産地消」を実現しています。

新ごみ焼却施設建設中、東北電力の送電網に空き容量がないことを理由に17億円の工事費と11年の工期を示されたものの、その後無事に空き容量を確保することができたという経緯がありました。その時の調査・研究で、単なる売電ではなく、更なる電力の有効活用ができないかという発想から、電力の地産地消が生まれました。





エコカップやまがた賞

鶴岡市

環境フェアつるおか事業

環境つるおか推進協議会

市民が「できることから始めよう」と環境問題を身近に考え、行動するきっかけやヒントを見つける場として、「環境フェアつるおか」を平成11年度から毎年開催している。

地球温暖化の防止や自然環境の保全、再生可能エネルギーの普及、リサイクルなどをテーマに、市内外から約60の事業者や団体、行政が出展し、再エネ・省エネ製品やエコライフの提案のほか、花苗配布での緑化推進やフードドライブ等の取組も行っている。また、本イベントではグリーン電力証書を活用し、電気の一部を再生可能エネルギーとして開催している。

第27回目となる本年は、「みんなでつなごう！環境にやさしいまち つるおか」をテーマとして、地球温暖化の防止やリサイクルなどのエコ活動について、展示だけでなく体験型ブースやクイズを通して普及啓発し、約3,500人の方に来場いただいた。

今後も、市民一人ひとりが環境問題について考えるきっかけとなることを目指す。





エコカップやまがた賞

長井市

長井市地域脱炭素プラン

「こどもの学びにも“脱炭素”」

長井市

長井市の小中学校では、普段の生活に欠かせない“電気”や“水”を通して、地球の未来を「自分ごと」にする環境学習に取り組んでいます。そのスタートとして、令和6年1月から、地域で作られた再生可能エネルギー100%の電力を全小中学校に導入しています。

【電力の見える化システムの設置】

全小中学校にディスプレイを設置し、市内の太陽光発電所や小水力発電所で作られた電気が学校に届くまでの流れや、電源別割合、地産地消率などを表示しています。また、時間ごとの使用電力量や、二酸化炭素削減量なども子どもたちにわかりやすく示しています。

【環境教室出前講座】

“環境を知る、考える、自分ごとにする”をテーマに、小学4年生と中学1年生の全児童生徒に向けて、環境教室出前講座を行っています。内容は、身近な環境に関することから地球温暖化のしくみ、私たちにできることを考える講座と、グループに分かれての環境クイズです。長井の水道水あてクイズなど楽しみながら学習しています。





エコカップやまがた賞

飯豊町

ゼロカーボン日本酒 『永遠酔』

ゼロカーボン日本酒プロジェクト

飯豊町ゼロカーボン日本酒プロジェクトでは、脱炭素社会の実現と環境に配慮した産業・消費の両立を目指しています。飯豊町内で既に稼働するバイオガス発電事業所から発生する消化液を稲作の肥料として活用するほか、秋耕や長期中干しの実践によって水田から発生する GHG 排出を抑制しています。これら GHG 排出削減行動は J クレジットの認証申請を行い、カーボנקレジットの推進を通じて生産者や地域の新たな価値創出へ挑戦しています。環境を基軸とした取り組みを連携させ、循環型社会の実現と持続可能な地域づくりが到達目標です。

初年度は、地元酒蔵や農業生産法人の協力を得て、ゼロカーボン日本酒「永遠酔」を発表しました。地域住民や関係者に参加いただき、2025 年 5 月に新酒発表会を開催しています。この新酒発表会では、永遠酔を味わいながら、プロジェクトの趣旨や取り組み内容について理解を深めました。今後も賛同、参画の輪を広げ、プロジェクトをさらに進めて行きます。





エコカップやまがた賞

鶴岡市

風力発電事業を通じた環境保全活動

加藤総業株式会社

当社は東日本大震災以前より、地域の風を活かした風力発電事業に取り組み、現在では関連会社とともに大型風車 20 基を運営・管理。年間約 92,000MWh を発電し、CO₂換算で約 42,600 トンの削減を実現しています。発電場所である酒田市・遊佐町・庄内町には、収益の一部から環境保全を目的とした寄付をさせていただいております。

また、電力の地産地消を目的に㈱やまがた新電力様と「さかた新電力コンソーシアム」を設立し、令和 7 年 4 月から酒田市内の小中学校へ電気の供給を開始。得た収益の一部を地域に還元し脱炭素社会の実現と地域課題の解決に向けて支援していきます。

さらに、地域振興として、海岸沿いでの事業活動にちなみ、全社員で海岸清掃を実施。市内の小・中学校を中心とした環境教育にも取り組み、地域の環境意識向上と振興に努めています。

今後も持続可能なまちづくりに貢献してまいります。





エコカップやまがた賞

鶴岡市

庄内エコ米プロジェクト

株式会社トー屋

食品リサイクル法や循環型社会への流れを受け、トー屋では平成 26(2014)年から生ごみの分別と肥料化を開始。翌年度以降はリサイクル率 100%を維持し、CO₂削減にも貢献しています。生ごみは東北イートップ(株)に委託して有機肥料化し、藤島地区の農家が生産している「庄内エコ米(つや姫・はえぬぎ)」を5店舗で販売。このリサイクルシステムはスーパーマーケットでは県内初で、令和元(2019)年に山形県のリサイクルシステム認証を取得しました。さらに、この米を使用した純米大吟醸「1018(トー屋)」を開発し、初年度はトー屋内 720ml クラスで売上首位を記録しました。

並行して、みずほ通り店といろは蔵パーク店で太陽光発電を導入し、年間約 220 トンの CO₂ を削減。東北公益文科大学の学生団体 Liga とのフードドライブや、廃油収入によるリサイクル啓発クリアファイル制作など、多面的に環境意識の醸成を進めています。





エコカップやまがた賞

村山市

農工連携カーボンニュートラルチャレンジ

光フューチャープロジェクト2024～2025

～太陽光発電でさくらんぼを守っちゃえー！～

村山産業高校 産業教育連携協議会

本校は、農工商の3学科を備えた特色を生かし、令和5年度より県教育委員会高校教育課の御指導を頂きながら6つのプロジェクトを行っています。全学科3年時の科目「課題研究」を火曜日に時間割を統一することにより学科を越えた協働の取組みを実現できました。

今回の取り組みは、農業科と工業科が連携しソーラーシェアリングによる農地での発電の可能性と農業への活用、太陽光発電パネル設置による栽培作物の品質向上化について研究するものです。今年度は校地内のサクランボ園地に2学科の生徒が協働し、電子情報科が製作した太陽光発電システム、農業科の遮光シート巻上げシステムを設置し霜対策、猛暑対策などの実証実験を行いました。また、地元企業や県・自治体のなどのセミナーによる「環境問題」、「地球温暖化」の知識を深める取組みも行っております。



山形市

やまがたゼロカーボン加速化事業

山形市環境課

山形市では、2050 年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指すゼロカーボンシティを表明しています。この実現に向け、市民・事業者による省エネルギー化と再生可能エネルギー導入を推進し、二酸化炭素排出量の削減に加速して取り組んでいます。地球に優しい生活環境・事業環境を実現し、持続的発展が可能なまちを目指すため、令和6年度より(1)非FIT型太陽光発電設備導入事業費補助金、(2)省エネ高効率設備導入事業費補助金の2つの補助事業を開始し、非FIT型太陽光発電設備や省エネ高効率設備の導入を推進しています。



山形市

夏休み講座「天気の人・アマタツと学ぶ地球温暖化」の開催

山形市環境課

フジテレビ系列「サン! シャイン」気象防災キャスターを講師としてお招きし、気候変動の視点から地球温暖化についてわかりやすく学べる、小学生向けの講座を開催しました。実験や工作を通して環境問題を身近に感じてもらい、地球温暖化によって山形では何が起きているのか等を知っていただきました。多くの子どもたちに参加していただき、地球温暖化対策の重要性やカーボンニュートラルの意義を広く周知することができました。



山形市

環境や省エネルギーに配慮した取り組み

山形市消防本部

西消防署本署の庁舎は、敷地内に緑地を確保するとともに、庁舎建物南側壁面上部にソーラーパネルを設置することで、温室効果ガス排出量の削減に努めています。



天童市

親子ふれあい環境教室

天童市

コロナ禍を除き例年開催してきた親子向けの環境教室を令和 7 年 8 月に実施しました。

親子 9 組 21 名が参加し、エネルギーの創、蓄、省をエコランタンを作りながら学びました。



天童市

天童市太陽光発電システム設置支援事業費補助金

天童市

地球温暖化の防止に寄与するため、太陽光発電システムを新たに設置する個人又は事業者に対し、補助金を交付しています。太陽光発電設備と併せて設置する蓄電池設備、V2H 設備も補助対象となります。補助金額以下のとおりです。

- ・ 太陽光発電設備：30,000 円/1kW（上限 120,000 円）
- ・ 蓄電池設備：補助対象経費の 1/10（上限 100,000 円）
- ・ V2H 設備：補助対象経費の 1/6（上限 100,000 円）



天童市

キャンドルナイト in てんどう 2024

天童市地球温暖化対策協議会

令和6年 12 月 21 日（土）に第 18 回目のキャンドルナイトを開催しました。

「電気を消してスローな夜を」を合言葉に、市内の寺院などから譲り受けた廃ろうそくを再利用したキャンドルや、太陽光で発電した電力を使ったイルミネーションを天童駅前広場に設置しました。

幻想的な雰囲気の中、地球温暖化防止や日頃のライフスタイルについて見つめ直す機会となりました。



上山市

『親子で学ぼう！エネルギー回収施設見学とエコ工作＆交通安全教室』

上山市地球温暖化対策地域協議会

上山市と本協議会、上山市交通安全推進協議会の共催事業で実施しており、市内の小学生とその保護者を対象にエネルギー回収施設（川口）の見学とエコ工作をととした環境保全、地球温暖化防止への啓発を目的として実施しています。併せて交通安全教室をおこなうことで、親子で楽しく学ぶ機会を提供しています。

2024 年度で6回目の開催となり、9名が参加されました。パナソニック(株)エレクトリックワークス社から講師を迎え、省エネに関するエコ講話やLEDランタンの工作教室を実施し、環境について親子で楽しく学びました。



村山市

公共施設グリーンカーテン設置事業

村山市

夏季の省エネと地球温暖化防止のため、公共施設のグリーンカーテン設置に取り組んでいます。

グリーンカーテンによって直射日光が遮られ、エアコンの設定温度を抑えることができました。また、窓辺の緑が職員や児童に涼しさを提供してくれました。



村山市

太陽光発電システム等設置補助金

村山市

再生可能エネルギーの普及促進を図るため、太陽光発電システム、蓄電池を設置する個人及び事業者に対し、補助金を交付しています。補助金額は以下のとおりです。

- 太陽光発電システム：1kW 当たり 30,000 円（4kW 上限（法人は 10kW 未満上限））
- 蓄電池：補助対象経費の 10 分の 1（10 万円上限）



村山市

木質バイオマス利用拡大支援事業

村山市

再生可能エネルギーの普及促進を図るため、木質バイオマス燃焼機器（ペレットストーブ、薪ストーブ等）を設置する個人及び事業者に対し、補助金を交付しています。補助金額は補助対象経費の3分の1（10万円上限）です。



東根市

環境 ISO の取り組み

東根市

東根市は、平成 13 年 10 月に山形県内の自治体で初めて ISO 14001 の認証を受け、現在もその認証を唯一継続しています。市が環境 ISO の認証を受けた事をきっかけに、地域・学校・家庭など身近なところで環境保全意識が広がっています。

令和 2 年 1 月 31 日には、「ゼロカーボンシティ」の表明を県内自治体に先駆けて行い、令和 4 年度には、2050 年カーボンニュートラル実現に向けたロードマップとなる「地球温暖化対策実行計画」を策定しました。



東根市

環境週間ひがしね

東根市

東根市では、市民・事業者・行政が一体となって環境問題に取り組むことを目的に、平成 17 年度から毎年 11 月に「環境週間ひがしね」を開催しています。

令和 7 年度は、次世代を担う子どもたちの力作が並ぶ「カーボンニュートラルポスターコンクール」の応募作品に加え、市内小中学校の環境保全活動の紹介、カーボンニュートラル啓発パネルを展示しました。また、8 月に開催した「水素で走る燃料電池自動車（FCV）トヨタ MIRAI 展示」で的一幕を紹介する写真コーナーも設置しました。



東根市

夏を涼しく ひがしね環境映画の日

東根市

令和7年8月23日(土)にフォーラム東根で「うんこと死体の復権」無料上映会を開催し、市民51名に参加いただきました。夏の昼間に冷房設備のある共有スペースを使用(クールシェア)することで環境負荷を軽減し、映画を通じて自然保護やいのちの循環などの地球環境について考えてもらうきっかけとなりました。また、同日に水素を燃料とするFCV(燃料電池自動車)の展示をフォーラム東根入口前で行いました。たくさんの方にご来場いただき、次世代のクリーンエネルギーである水素を「見て、触れて、体験」していただく貴重な機会となりました。



河北町

環境ポスターコンクールの開催

河北町役場

ポスターの作成を通じて、児童の環境保全、環境美化及びリサイクルに対する意識を高めるとともに、将来にわたっての地球環境の保全のための一助としました。また、コンクール応募作品は町内に掲示し、環境保全の意識改革のため広く町民に周知しました。

さらに、最優秀作品は、環境問題啓発ポスターとして、町内全地区及び町の施設、各学校などに掲示しました。



河北町

再生可能エネルギー設備導入事業費補助事業

河北町役場

地球温暖化防止のため、一般家庭においても省エネや再生可能エネルギーの利用が求められており、河北町では平成23年度から太陽光発電システム設置費用の補助制度を設けました。平成27年度から町内の事業所への設置にも対象を拡大し、さらに令和2年からは設置場所について敷地内の付属建築物及び土地、令和4年度からは太陽光発電設備に接続する蓄電池設備にも補助を拡大しています。

令和5年度からは木質バイオマス燃料機器の設置・断熱窓へのリフォームも補助対象としています。



河北町

生ごみ処理機購入設置事業補助事業

河北町役場

地球温暖化防止のため、一般家庭でもごみ減量の役割が求められており、河北町では、一般家庭から排出される生ごみの減量化と堆肥化による再生利用を促進するために、電気式生ごみ処理機、コンポスト容器、生ごみ密閉式処理容器の購入に対し補助金を交付しています。



寒河江市

ゼロカーボンシティの実現に向けた市の取り組み

寒河江市役所市民生活課地球温暖化対策室

寒河江市では令和4年3月に、緑あふれ笑顔かがやく美しいまちを未来の「さがえっこ」に引き継ぎ、安全・安心な暮らしを守るため、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言しました。

補助金事業（次世代自動車導入事業費補助金、再生可能エネルギー設備導入事業費補助金、生ごみ処理機設置事業費補助金）やセミナー、こどもエコチャレンジの開催など市民、事業者など幅広く対策を推進しています。



三川町

廃食用油（植物性）の集団回収

三川町、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会

平成21年度から、各家庭の廃食用油（植物性）を各町内会で設置した回収ボックスにより回収しています。

各町内会から回収された廃食用油は、事業所から回収された廃食用油とともに鶴岡市内の民間工場でバイオディーゼル燃料（BDF）にリサイクルされています。

そのことにより、ごみ総量の減量が図られるとともに、町民の環境保全に対する意識啓発等に繋がっています。

なお、令和6年度は、各町内会から545リットルの廃食用油を回収しました。



三川町

住民参加型「空き缶回収事業」

三川町、各小学校、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会

各家庭から排出される空き缶を各町内会が設置した回収ボックスで分別回収することにより、ごみ総量の減量とCO₂の削減、環境保全の意識啓発を図りました。

また、町立横山小学校、東郷小学校、押切小学校の3小学校で実施している空き缶回収は、令和5年度にアルミ缶とスチール缶合計0.4tを回収しました。



三川町

町内会等集団資源回収、資源リサイクルステーション、資源ポストによる資源リサイクルの推進

三川町、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会

各家庭から排出される資源ごみについて、各町内会等による集団資源回収、町公民館駐車場に設置した資源リサイクルステーションと資源ポストで回収することにより、ごみ総量の減量とCO₂の削減、資源リサイクルの意識啓発を図りました。

令和6年度は、集団資源回収を26町内会で延べ60回実施し、資源リサイクルステーション及び資源ポストを51日開所しました。

その結果、集団資源回収では計107t、資源リサイクルステーションでは計58t、ポストでは計5t、使用済小型家電は0.4t、合計で170tの資源ごみを回収しました。



三川町

町民へのアサガオ種の配付及び公共施設、保育園・幼稚園へのグリーンカーテンの設置

三川町、みかわ保育園・幼稚園、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会

希望する町民へアサガオ種の無料配付（令和6年度は46世帯）及び公共施設等へのグリーンカーテンの設置（令和6年度は、役場等の公共施設3か所、保育園・幼稚園1か所の計4か所に計38プランター）を行いました。

町民にグリーンカーテンの設置を奨励するとともに、公共施設等へグリーンカーテンを設置し、室内温度の上昇防止によるエアコン等の稼働抑制が図られ、CO₂の削減、地球温暖化防止の意識啓発に繋がっています。



三川町

住宅用太陽光発電システム設置補助

三川町

一般家庭での省エネ、新エネルギーの導入を積極的に進めるため、平成 26 年度より太陽光発電システム設置費用の補助を行っています。



町の補助金の額は、1kW あたり 3 万円（上限 12 万円）です。

令和 6 年度の補助金交付件数は 4 件で、太陽光発電設備最大出力合計では 19.44kW でした。

白鷹町

ゼロカーボンシティ宣言後の取組

白鷹町

白鷹町では頻発する災害を未然に防ぐとともに、持続可能なまちづくりを目指すため、白鷹町では令和 3 年にゼロカーボンシティ宣言を行い、「白鷹町地球温暖化対策実行計画（区域施策編、事務事業編）」を策定しました。さらに、令和 4 年度には「第 3 次白鷹町環境基本計画」並びに「第 2 次白鷹町エネルギー計画」を策定しました。

グリーンカーテンの設置事業対象をさらに拡大、高い省エネルギー性能の住宅を新築する場合の支援事業を行っています。再生可能エネルギー設備の導入を行う際の支援についても継続実施しています。



金山町

小水力発電へのチャレンジと普及活動（その見える化）

NPO かねやま電雪

NPO かねやま電雪は、金山町の自然を活かす活動の一環として、2020 年から金山川水系で小水力発電の調査を実施してきた。大規模地点は水利権が複雑で断念したが、2024 年に大清水川で約 40kW の発電可能性が示され、2025 年に向け水量調査を開始する方針となった。町民参加型事業を目指し、産業まつりでの実演や中学校での授業など普及活動も進めている。金山町は 2022 年にゼロカーボンシティ宣言を行っており、この取り組みは時代の潮流に乗るものです。



高畠町

GHG 排出量（scope 1～3）検証による地球温暖化防止への取り組み

ASE ジャパン株式会社

企業自らが排出する直接排出（Scope1）、電力などのエネルギー調達に伴う間接排出（Scope2）の算出から行い、今年からはバリューチェーンにおける他社による間接的排出（Scope3）排出量算定を併せて実施しました。

算出に当たっては排出係数、使用量の管理と様々ですが、環境担当部門だけが精一杯行っても、なかなか全従業員まで浸透はしません。製品の輸送、従業員の通勤・出張などによる排出量を算定し啓蒙することで、ISO14001 にもあるように全従業員の参加につながります。



米沢市

エネルギーの地産地消を目指して

株式会社エービーエム

当社の関連会社であるエービーエムエナジー合同会社とおきたま新電力は、2024 年 1 月に特定卸電力需給契約を締結し、同年 2 月から、当社の指定管理施設 3 ヶ所はエービーエムエナジーで発電された電力（太陽光による持続可能エネルギー）が供給されています。

令和 7 年度より、置賜総合文化センターも同様の電力供給となり、また、来年度以降米沢市内公共施設の多くがおきたま新電力からの供給となることが決まっております。エービーエムおよびエービーエムエナジーは、今後もおきたま新電力と連携しながら、米沢市の SDGs 達成に貢献してまいります。

米沢市営体育館をご利用の皆様へ

電力の地産地消へ



GREEN ENERGY
おきたま新電力

当施設には
エービーエムエナジー
（米沢市川井太陽光発電所）
の電気が供給されています

発電事業者 エービーエムエナジー合同会社（米沢市）

長井市

エコアクション 21 を中心とした環境活動

有限会社三立

エコアクション 21 の活動は 15 年目に入ります。今期は厳しい夏季および冬季の気象条件の影響もあり、CO₂ 排出量が前期比で 4,388kg-CO₂ 増加しました。今後は CO₂ 排出係数の小さいエネルギーを優先して使用するなどの対策を実施します。環境コミュニケーション活動として、社外では国道・県道および河川土手における定期的な整備活動を行っています。社内では環境標語の募集に加え、社内環境情報誌を随時発行・配布し、社員間の情報共有を図っています。



ネッツ セーフティー&エコドライブ教室

ネッツトヨタ山形株式会社

当社では、「SAFETY&ECO DRIVE」の輪を広げ、環境保全活動を進めるとともに、先進安全機能を知ってもらい、交通死傷者ゼロの社会の実現を目指しております。

2014 年からこの活動を始め、2024 年度は前年同様、米沢市内の 23 企業・68 名を対象に新入社員を対象に交通安全研修会が開催され、自動ブレーキ体験会を通して、先進安全機能を体感してもらいました。また、『セーフティ＆エコドライブ教室』を 2 店舗で開催するとともに、米沢栄養大学・米沢女子短期大学では、エコドライブの雪道でのより安全な運転方法を学んでもらう為、「エコドライブ教室」「死角体験」を行いました。



長井市

資源削減の取り組み

株式会社マツキコーポレーション

- ・来訪者向けにアイドリングストップの看板設置
- ・ISO14001 の活動の一環として、各部門ごとに燃料消費年間目標を立て削減、向上に取り組んでいる
- ・各車両の運行記録簿に燃料計算項目を作り管理している
- ・四半期ごとに燃料消費量をグラフ化している
- ・資源削減のため、なるべくペーパーレス化を意識した取り組みを実施している
- ・LED への交換を順次進め、電力消費削減に努めている
- ・土曜日の勤務時間を短縮し、資源使用の削減を実施



山形市

やまがたCO₂フリー電力の販売と自家消費型太陽光発電設備余剰電力買取による地域の脱炭素推進

株式会社やまがた新電力

やまがた新電力は、2012 年策定の「山形県エネルギー戦略」を実現するため、2015 年に設立されました。電力の地産地消を柱に、2020 年の「ゼロカーボンやまがた 2050」宣言を契機として CO₂フリー電力の供給を開始。2024 年からは再生可能エネルギー由来の「やまがた CO₂フリー電力」を販売し、約 300 施設に供給しています。さらに、自家消費型太陽光発電設備からの余剰電力も 200 件以上買取しており、地域の脱炭素と持続可能な社会づくりに貢献しています。



東根市

環境製品の開発と普及活動および太陽光発電事業

株式会社山本製作所

いのちを支える食と環境の分野に携わるメーカーとして、当社は様々な商品・サービスを提供しています。

プラスチック材質判別装置「ぷらしる」は、リサイクル現場で必須の材質判別業務を、誰でも簡単に同じ基準で行えるようにしました。木質ペレットストーブは未利用材を有効活用し、「炎のある暮らし」を楽しみながら CO₂ 削減や森林再生に貢献します。

また、社内の太陽光発電設備では、工場の使用電力を上回る発電を行っています。



鶴岡市

地域資源のリサイクル活用と再生可能エネルギーの普及と開発

株式会社渡会電気土木

当社は庄内地方のクロマツ、スギの間伐材を原料とした燃料用木質ペレットを、山形県内を中心に年間約 4,500 トン供給し、庄内地域を中心に発生する針葉樹、広葉樹の間伐材を原料とした発電用木質チップを年間約 20,000 トン生産しています。

工場施設に蓄電池を備えた太陽光発電設備を整備し、最大発電能力 150 kWh の太陽光パネルを設置しています。大規模災害時の一時的な避難受け入れに関する協定を鶴岡市と地区自治会と 3 者で結んでおり、避難所として開設する際は蓄電池により停電時でも 3 日間程度の運営が可能となっています。



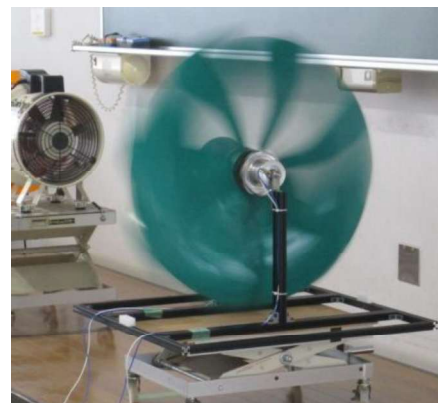
山形市

超小型風車におけるブレード形状最適化の研究

山形県立山形工業高等学校 機械技術研究会

昨今の電力需要は増加傾向にある中、電気料金の高騰が深刻な問題となっている。電力の供給元についても約半分が化石燃料に依存している中、風力を利用した再生可能エネルギーを活用し、山形県のカーボンニュートラルの実現に向けて何かできないかと考えた。

令和 6 年度は、横型風車で風速 6m/s 時に 15.5W の出力を目標に研究を進めている。ブレードにスキュー角を設け、形状の有無によっての効率改善への影響について明らかにしたい。また県内企業などとも連携し、模擬的実験やデータ収集を行っている。



協賛団体の活動の紹介

山形市

～2050年カーボンニュートラルの実現に向け～

NPO 法人山形県自動車公益センター

私たち「NPO法人山形県自動車公益センター」は、「環境活動を通して 人とクルマと自然との調和を考える」をテーマに掲げ、日本全体の目標として取り組んでいる「2050年カーボンニュートラルの実現」に向け、自動車分野におけるさまざまな情報発信はもとより、エコカー普及促進、エコドライブ普及推進を始め、地球温暖化防止に向けた取り組みを積極的に行い、また、交通安全に寄与して参るべく、日々活動を行っております。

私たちが住む山形にとって、自動車は一人一台と言われるなど日常生活を営むうえで必要不可欠なものであり、大切なパートナーでもあります。近年、各自動車メーカーによる新たな技術の革新に伴い、より一層「自動車の電動化・知能化」が進むなか、私たち自身も適宜より良い選択を行い、安全安心なる生活環境を整え、未来に生きる子どもたちに「より環境・人に優しい山形」を継承できるよう、日々努めて参ります。



【NPO 法人 山形県自動車公益センター】

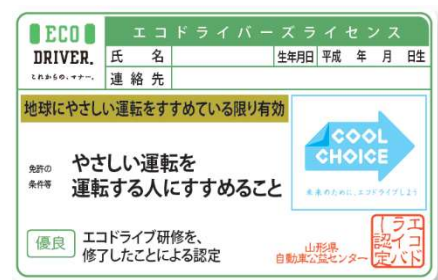
<http://www.yauto-center.net/>

【(株) 山形県自動車販売店リサイクルセンター】

<http://www.yauto-rc.co.jp/>

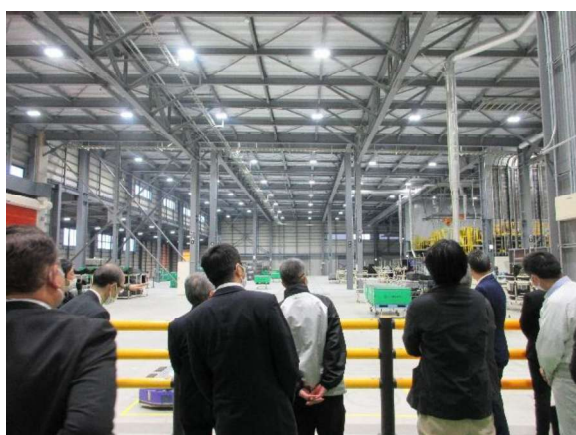
【(一社) 日本自動車販売協会連合会山形県支部】

<http://www.yamagata-jada.jp/>



山形県環境保全協議会

山形県環境保全協議会は、経済と環境の両立の理念に立ち、県内の企業が協力しながら、企業活動のあらゆる分野に環境保全の考えを取り込み、企業・事業者側から快適な地域環境を創造することを目的に平成5年3月に設立されました。現在、209事業者が加入しています。主な活動は講演会、視察研修会の開催、表彰事業、社会貢献活動などを実施しています。社会貢献活動では、廃プラスチック類による海洋汚染やマイクロプラスチック問題を考える機会として庄内海岸等のクリーンアップ活動を令和3年度から開催しています。また、「森林整備活動」を平成23年度から開催し、健全な森林育成に貢献し、森林吸収源対策につなげたいと考えています。2050年カーボンニュートラル社会の実現のため、当協議会としても積極的に取組んで参ります。



視察研修会の様子



「令和7年度山形県環境保全推進賞」表彰式の様子



庄内海岸のクリーンアップ活動の様子



森林整備活動の様子

過去のエコカップやまがた大賞団体

- 2007 年度：非営利組織NPO－AMP（あんぷ）（新庄市）
新庄中心商店街資源回収プロジェクト「ちょべっと」
- 2008 年度：山形県立置賜農業高等学校（川西町）
MOTTAINAIプロジェクト
- 2009 年度：山形県立東根工業高等学校（東根市）
ものづくりプロジェクト
～手作り太陽電池パネルから広がる世界のCO2削減～
- 2010 年度：港屋商事株式会社（河北町）
古紙回収を通じての環境保護活動
- 2011 年度：山形県立米沢工業高等学校（米沢市）
米工ゼロエミッションプロジェクト
- 2012 年度：山形県立山形工業高等学校環境システム研究会（山形市）
リサイクルDEボランティア
- 2013 年度：山形県立東根工業高等学校（東根市）
続ける手作り太陽電池パネルと資源の有効活用
～持続可能なまちづくりのために～
- 2014 年度：株式会社滝の湯ホテル（天童市）
人と環境に優しい宿づくり
- 2015 年度：庄内町地球温暖化対策地域協議会（庄内町）
「庄内町町民節電所」事業
- 2016 年度：南陽市（南陽市）
地域材を活用した木造公共施設（南陽市文化会館）
- 2017 年度：東根市（東根市）
環境ISOの取組
- 2018 年度：みちのく屋台こんにゃく道場（山形市）
やまがた「生ごみやさいクル」で就労支援
- 2019 年度：ドリームやまがた里山プロジェクト（県内全域）
自動車部品のリサイクル活動を通じた海洋ゴミ削減と安全意識向上事業
- 2020 年度：ドリームやまがた里山プロジェクト（県内全域）
自動車の廃材を活用したバリアフリービーチの構築
- 2021 年度：東北おひさま発電株式会社（長井市）
バイオガス発電施設を中心としたリサイクルシステムの確立に向けた取り組み
- 2022 年度：株式会社ト一屋（酒田市）
庄内エコ米プロジェクト
- 2023 年度：株式会社渡会電気土木（鶴岡市）
地域資源のリサイクル活用と再生可能エネルギーの普及と開発
- 2024 年度：長井市（長井市）
長井市地域脱炭素プラン～みんながしあわせに暮らせる脱炭素社会へ～

デコ活（脱炭素実践活動）事例収集・発信事業

「エコカップ やまがた 2025」

～カーボンニュートラルやまがたを目指して～

活動事例集

【製作（主催）】

「エコカップやまがた 2025」実行委員会

【共催】

NPO 法人山形県自動車公益センター、山形県環境保全協議会

【後援】

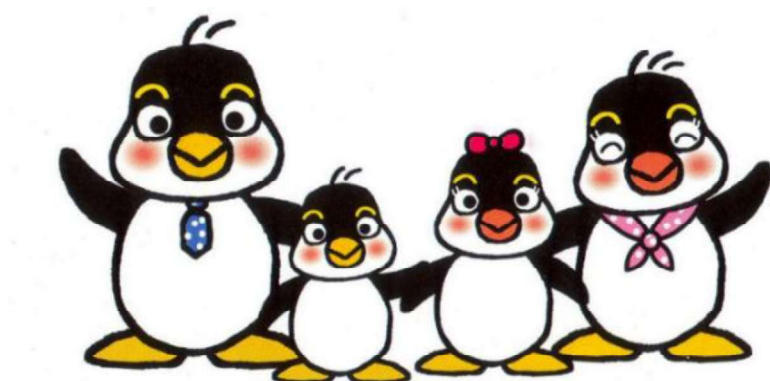
山形県、山形県教育委員会

【事務局】

山形県地球温暖化防止活動推進センター

【発行日】

令和8年1月29日



エコペンは、山形県地球温暖化防止活動推進センターのマスコットキャラクターです。

【本冊子についての連絡先・問い合わせ先】

山形県地球温暖化防止活動推進センター

（特定非営利活動法人環境ネットやまがた）

〒990-2421 山形県山形市上桜田 3 丁目 2-37

TEL 023-679-3340 FAX 023-679-3379

Email eny@chive.ocn.jp HP <http://eny.jp>

※各団体の連絡先は、事務局（山形県地球温暖化防止活動推進センター）までお問い合わせください。